

12月から2018年、1ヶ月のパリ取材。事件があったためと思うものの、カメラには神経質で、嫌がるフランス人が多いように感じた。

皆さんも気をつけてください。

もともと、肖像権の問題もあって、人物の撮影は控えるようにしている。

インターネットは世界的、発信も控えている。

うっかりすると、「アテンション」が来る。それだけでは済まない。しかし、街の雰囲気伝えるには、人が入らないと様にならないことも多い。

また、夢絵作品にするモチーフは、すでに蓄積。今回は

治安の関係もあって、6x7カメラは持参していないので、いささか、写真としては、瞬間のスナップが多いが、一枚の画像から、旅模様や状況が、判断できると、**ある時期から**、スナップ画像を活用。

夢絵作家
久楽 迎古



今回の欧州取材一人旅、思いつくままに、発信。
また、画像の整理上、大筋では正しいものの、前後して掲載することもあり、
マドリードとアビラ間でも、約 120 キロ。山あり、谷あり、
小さな農村集落始め、道草、横道は相変わらず、早朝から暗くなるまで、
稼働時間は連日 14 時間余、好きだから出来たと思う。

今は、費用対効果や後味が疑問。何より楽しくないことが多い。
数年前から、久楽流の取材を続けているが、
時代は、様変わりとなり発信を楽しみ、想定外の出来事は、例外として、
規則正しく、朝から晩まで、楽しみながら頑張れた。
その上今日、まずまず、心身健康と認めるならば、頑張ったおかげと言える。

今回は、自然や生き物だけでなく、日々の生活、調度品や建物、
その土地のかおりや文化をお伝えできると嬉しく、思いつくままに、発信。
元に戻って、場所や地図も、発信できる範囲内で・・・
下記は、結果としての行程。

山はみどり 野に花 人には心

アビラでは、パラドールに宿泊。ホテルからの情報、駅にも出向いた。
レストランでの外食。1 日では時間が足りない。
11 月なのにクリスマスツリーの準備がしてあった。この旅は面白くなりそう。
この旅の方針は、何でも見てやろう。何でも体験してやろう。



何事も実体験。



その後、**アビラ**から、**マドリード**に戻り、
カセレス経由、南下して、**カティス**の夕景を、今一度、取材したく、
その後、未知のコースを選択して
ポルトガル・リスボン、そんな取材のコースになった。